

地域ケア推進会議 報告書

【医療・介護連携に関する場合のみ】

提出日	2022年12月6日
作成 高齢者支援センター	鶴川第2
作成者	鈴木 智明

1.開催日時	2022年11月25日	(金)	19:00	～	21:00
2.会場	リモート開催				
3.主催センター	鶴川2	・	鶴川1	・	
4.参加人数	82人				
5.参加者内訳	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者支援センター 13人		<input checked="" type="checkbox"/> 医療と介護の連携支援センター 2人		
	<input checked="" type="checkbox"/> 医療関係者 22人 (うち、医師1人、歯科医2人)		<input checked="" type="checkbox"/> 介護事業者 40人		
	<input type="checkbox"/> 民生委員 人	<input type="checkbox"/> 老人会 人	<input type="checkbox"/> 住民 人		
	<input type="checkbox"/> 町内会自治会 人	<input type="checkbox"/> 警察 人	<input checked="" type="checkbox"/> 行政 4人		
	<input checked="" type="checkbox"/> その他 (医薬卸 1人)				
6.開催テーマ	「コロナに負けない町、つるかわ」を目指して～オーラルフレイルを考える～				
7.地域課題	<p>(1) 課題設定の背景</p> <p>コロナ禍で、フレイル状態に陥る高齢者が増えてきているが、オーラルフレイル(口腔機能低下)については、まだ認知度が低く、医療・介護専門職も、その重要性を十分理解できていない。</p> <p>(2) 検討した地域課題</p> <p>オーラルフレイルの早期発見には、口腔機能検診が有効だが、受診率をあげるには医療介護の専門家が、地域の人たちにどう伝え、どこにつなぐか、どんなツールが必要か。</p>				
8.会議の内容	<p>①地域ケア推進会議において「オーラルフレイル」を取り上げた理由</p> <p>②戸羽歯科医師より講義「歯科医から見たコロナ禍におけるフレイル予防について」</p> <p>③福祉現場での取り組みの現状「ケアフルクラブ悠々園・愛信園・言語聴覚士より」</p> <p>④グループディスカッション</p> <p>1) 私たちが取り組めるオーラルフレイル予防</p> <p>2) 高齢者歯科口腔機能検診の受診率を高める効果的な方法</p>				
9.課題に対する対応策・今後の地域での展開	<p>オーラルフレイル予防について、各専門職からの講話を元に学んだ知識を活かし、市民にも口腔機能の問題を早期発見する重要性を知ってもらう必要がある。そのためには検診の受診率を高める効果的な方法について専門職間の情報共有、市民への情報提供を行う取り組みが必要。今回の合同会議でのGW・アンケートからより効果的なアプローチ方法を検討し、次回推進会議で企画メンバーと協議・検討する。</p>				

医療と介護の連携支援センター 確認日

12月 7日